

# 第 69 回国民体育大会（長崎県）

## 実施要項総則

### 開催の趣旨

国民体育大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとするものである。

長崎県で開催する第 69 回国民体育大会「長崎がんばらんば国体」は、「君の夢 はばたけ今ながさきから」のスローガンのもと、歴史・文化とスポーツの一体化を図る「文化・スポーツ融合国体」、すべての県民が「おもてなしの心」をもって様々な立場で参加・協力する「県民総参加国体」、国体改革の理念に沿った簡素・効率化を念頭において創意工夫を凝らす「コンパクト国体」という 3 つの視点から取り組み、長崎県らしい魅力あふれる大会を目指す。

### 実施方針

#### 1 実施競技

正 式 競 技	公開競技
陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ボート、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、山岳、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、クレー射撃、なぎなた、ボウリング、ゴルフ	高等学校野球 トライアスロン

#### 2 会期及び会場地

会 期	会 場 地	会場地数
平成 26 年 10 月 12 日(日) ～10 月 22 日(水) 〔11 日間〕	長崎市、佐世保市、島原市、諫早市、大村市、 平戸市、松浦市、壱岐市、五島市、西海市、 雲仙市、長与町、時津町、川棚町、熊本県益城町	11 市 4 町
*水泳・カヌー（スラローム・ワイルド ウォーター）競技会は下記日程内で実施 平成 26 年 9 月 7 日(日) ～ 9 月 14 日(日) 〔8 日間〕	長崎市、福岡県福岡市、熊本県人吉市	3 市

### 3 競技方法

各競技実施要項に示す方法とし、正式競技は都道府県対抗で実施する。

### 4 ドーピング検査の実施

大会におけるドーピング防止活動（ドーピング検査及びドーピング防止教育啓発活動）は、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構が定める「日本ドーピング防止規程」及び別に定める「国民体育大会ドーピング防止活動に関するガイドライン」に基づき実施する。

なお、治療の目的で禁止物質・禁止方法を用いる必要がある場合は、事前に「治療目的使用に係る除外措置」（TUE）に係る手続きを行うこと。

### 5 参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

選手及び監督の参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準は、次のとおりとする。

なお、参加資格については、「第 69 回国民体育大会参加資格、所属都道府県及び年齢基準等の解釈・説明」を併せて確認すること。

【 公益財団法人日本体育協会ホームページ <http://www.japan-sports.or.jp/> 】

#### (1) 参加資格

ア 日本国籍を有する者であることとするが、選手及び監督のうち、次の者については、日本国籍を有しない者であっても、大会に参加することができる。

(ア) 「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち「永住者」（「日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法」に定める「特別永住者」を含む。）

(イ) 少年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a 「学校教育法」第 1 条に規定する学校に在籍する学生又は生徒で、「8 参加申込方法」で定めた参加申込締切時に 1 年以上在籍していること。

b 「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち、「留学」又は「家族滞在」（中学 3 年生）に該当していること。

(ウ) 成年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a 少年種別年齢域にあった時点において前号(イ)に該当していた者であること。

b 「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち、大会参加時から終了時まで「留学」に該当しないこと。

[注] 上記(ウ)b について、大学及び専修学校等に在籍する成年種別の年齢域に該当する者は、「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」以外の在留資格を有する場合も「留学」と同等に扱う。

イ 選手及び監督は、所属都道府県の当該競技団体会長（代表者）と体育（スポーツ）協会会長（代表者）が代表として認め、選抜した者であること。

ウ 第 67 回又は第 68 回大会（都道府県大会及びブロック大会を含む。）において選手及び監督の資格で参加した者は、次の場合を除き、第 67 回又は第 68 回大会と異なる都道府県から参加することはできない。

(ア) 成年種別

a 平成 25 年度に「学校教育法」第 1 条に規定する学校を卒業した者

b 結婚又は離婚に係る者

c ふるさと選手制度を活用する者（別記 1「国民体育大会ふるさと選手制度」による。）

[注] 別記 3「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

d 東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者（別記5「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」による。）

(イ) 少年種別

a 平成25年度に「学校教育法」第1条に規定する学校を卒業した者

b 結婚又は離婚に係る者

c 一家転住に係る者（別記2『『一家転住等』に伴う特例措置』による。）

d JOCエリートアカデミーに在籍する者（別記3「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」による。）

e 東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者（別記5「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」による。）

エ 選手及び監督の兼任は、同一種別内に限る。

オ 選手及び監督は、回数を同じくする大会において、冬季大会及び本大会にそれぞれ1競技に限り参加できる。

カ 選手及び監督は、回数を同じくする大会において、異なる都道府県から参加することはできない。

キ 上記のほか、選手については次のとおりとする。

(ア) 都道府県大会及びブロック大会に参加し、これを通過した者であること。

(イ) 健康診断を受け、健康であることが証明された者であること。

(ウ) ドーピング検査対象に選定された場合は、検査を受けなければならない。

ク 上記のほか、監督については公益財団法人日本体育協会（以下「日本体育協会」という。）公認スポーツ指導者制度に基づく競技別指導者資格を有する者とし、各競技における対象資格については当該競技実施要項によるものとする。

なお、第69回大会における特例として、以下の者の取り扱いについて、各競技において別に定める。（25頁「第69回国民体育大会における監督への公認スポーツ指導者資格の義務付けに係る取り扱いについて」参照）

・平成26年10月1日付の登録手続きを行う者（平成26年10月1日付認定予定者）

(2) 所属都道府県

所属都道府県は、当該競技団体が限定する場合を除き、次のいずれかが属する都道府県から選択することができる。

ア 成年種別

(ア) 居住地を示す現住所

(イ) 勤務地

(ウ) ふるさと（別記1「国民体育大会ふるさと選手制度」による。）

[注] 別記3「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

イ 少年種別

(ア) 居住地を示す現住所

(イ) 「学校教育法」第1条に規定する学校の所在地（以下「学校所在地」という。）

(ウ) 勤務地

(エ) 別記3「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」に定める小学校の所在地

※ 「居住地を示す現住所」、「勤務地」、「学校所在地」のいずれかから参加する場合は、平成26年4月30日以前から本大会終了時（平成26年10月22日）まで、引き続き当該地に、それぞれ居住、勤務、又は通学していなければならない。ただし、次の者はこの限りではない。

[成年種別]

- a 別記4「トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- b 別記5「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

[少年種別]

- a 「一家転住」した場合
- b 別記4「トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- c 別記5「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

(3) 選手の年齢基準

ア 選手の年齢基準については、下記を原則とする。

(ア) 成年種別に参加する者は、平成8年4月1日以前に生まれた者とする。

(イ) 少年種別に参加する者は、平成8年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者とする。

(ウ) 年齢を区分している種別へ参加する者の年齢計算は、平成26年4月1日を基準とする。

イ 日本体育協会が特に認める場合は、上記アにかかわらず、競技ごとに年齢区分を設定することができる。ただし、年齢の下限は中学3年生（平成11年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者）とする。

(4) 前記の各事項に疑義のあるときは、日本体育協会及び当該競技団体が調査・審議のうえ、日本体育協会がその可否を決定する。

別記1【国民体育大会ふるさと選手制度】

(1) 成年種別年齢域の選手は、国民体育大会開催基準要項細則第3項〔国民体育大会開催基準要項第8項第1号及び第10項第4号（参加資格及び年齢基準等）〕に基づき、下記のいずれかを拠点とした都道府県から参加することができる。

ア 居住地を示す現住所

イ 勤務地

ウ ふるさと

(2) 「ふるさと」とは、卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県とする。

ただし、JOCエリートアカデミーに係る選手については、別記3「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」第3項により取り扱うものとする。

(3) 我が国の競技力向上を支援する観点より、日本国籍を有する者及び「永住者」については、日本における滞在期間に関わらず、本制度を活用できるものとする。

(4) 「ふるさと選手制度」を活用し参加を希望する選手は、予め所定の方法により「ふるさと」を登録しなければならない。

なお、一度登録した「ふるさと」は変更できないものとする。

(5) 「ふるさと」から参加する選手は、国民体育大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。

(6) ふるさと選手制度の活用については、原則として、1回につき2年以上連続とし、利用できる回数は2回までとする。

(7) 参加都道府県は「ふるさと選手」を別に定める様式により、当該大会実施要項で定めた参加申込締切期日までに、日本体育協会宛に提出する。

## 別記2【「一家転住等」に伴う特例措置】

### 転校への特例

- 1 以下の内容をすべて満たすことにより、国内移動選手の制限（国民体育大会開催基準要項細則第3項－（1）－1）－③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。
  - (1) この特例の対象は、少年種別年齢域への参加者に限る。
  - (2) 本特例を受けることができるのは、一家転住等やむを得ない理由に限ることとする。  
なお「一家転住等」とは概ね次のことを言う。
    - ア 親の転勤による一家の転居
    - イ 親の結婚、離婚による一家の転居
    - ウ 上記以外に、やむを得ない理由による一家の転居
  - (3) 転居した時点に応じて、以下の手続きを終了していること。
    - ア 本特例を受けようとする参加者は、下記2(1)の場合は転居元、下記2(2)の場合は転居先が属する都道府県体育（スポーツ）協会（以下「都道府県体育協会」という。）及び都道府県競技団体に対し、その旨報告すること。
    - イ 報告を受けた都道府県体育協会及び都道府県競技団体は、下記2(1)の場合は転居先、下記2(2)の場合は転居元が属する都道府県体育協会及び都道府県競技団体に対し、その旨報告し了承を得ること。
- 2 本特例を受ける当該大会において、参加することができる都道府県は以下のとおりとする。
  - (1) 転居した時点において、以下に該当する場合は転居元が属する都道府県から参加することができる。
    - ア 転居先が属する都道府県の代表が既に決定している場合
    - イ 当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表として既に決定している場合
    - ウ 当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表選考過程にある場合
  - (2) 転居した時点において、以下に該当する場合は転居先が属する都道府県から参加することができる。
    - ア 転居元が属する都道府県において、当該大会における都道府県代表の選考が開始されていない場合

## 別記3【JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置】

公益財団法人日本オリンピック委員会が実施する「JOC エリートアカデミー」に係る選手のうち、次の(1)に該当する者については、国民体育大会開催基準要項細則第3項〔国民体育大会開催基準要項第8項第1号及び第10項第4号（参加資格及び年齢基準等）〕及び別記1「国民体育大会ふるさと選手制度」に関し、次の(2)～(4)の特例を適用する。

- (1) 対象者
  - ア 少年種別年齢域の選手で JOC エリートアカデミーに在籍する者
  - イ 成年種別年齢域の選手で JOC エリートアカデミーを修了した者、または同アカデミーに在籍する者
- (2) 少年種別年齢域の選手の所属都道府県
  - (1)アに定める少年種別年齢域の選手は、その所属都道府県について、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」、「勤務地」のほか、卒業小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。  
なお、同アカデミーへの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

(3) 成年種別年齢域の選手の「ふるさと」

(1)イに定める成年種別年齢域の選手は、別記1「国民体育大会ふるさと選手制度」(2)に定める卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県のほか、卒業小学校の所在地が属する都道府県を「ふるさと」とすることができる。

なお、同アカデミーへの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を「ふるさと」とすることができる。

(4) 国内移動選手の制限に係る例外適用

(1)アに定める少年種別年齢域の選手が前回の大会(都道府県大会を含む)と異なる都道府県から参加する場合、国民体育大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③(国内移動選手の制限)に抵触しないものとする。

[注] (1)イに定める成年種別年齢域の選手については、国民体育大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③(国内移動選手の制限)の規定に従い取り扱うものとする。

別記4【トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置】

我が国の競技力向上を支援する観点より、一定の競技力を有する選手に対して、「トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置(以下「本特例」という。)」を下記のとおり定める。

1 特例の対象となる選手

本特例の対象となる選手は、下記の条件のいずれかを満たす者とする。

- (1) 第30回オリンピック競技大会(2012年・ロンドン)に参加した者。
- (2) 平成26年4月30日(冬季大会は前年10月31日)時点で、下記のいずれかに該当し、各中央競技団体が本特例の対象として認めた者。

ア JOCアスリートプログラム強化指定選手

イ 各競技(種目)における国内ランキング上位10位以内の者

ウ 中央競技団体が定めた強化指定選手

※ 強化指定ランクについては、各競技における全日本選手権大会入賞レベル以上のカテゴリーを対象とする。

2 特例の内容

(1) 予選会の免除

本特例の対象となる選手については、都道府県予選会及びブロック大会を経ずに国民体育大会本大会に参加することができるものとする。ただし、ブロック大会実施競技種目・種別においては、当該都道府県代表選手又はチームがブロック大会に参加し、本大会参加枠を獲得している場合とする。

(2) 資格要件(日数要件の緩和)

本特例の対象となる選手が所属都道府県として「居住地を示す現住所」又は「勤務地」を選択する場合は、日数に関する要件を定めないこととし、以下のとおりとする。

ア 居住地を示す現住所

次の要件をいずれも満たすものとする。

- (ア) 平成26年4月30日以前から大会終了時(平成26年10月22日)まで引き続き、住民票記載の住所に存する都道府県において生活している実態があり、当該都道府県以外(海外を含む)において生活している実態がないこと。

なお、生活の実態については、下記要件により判断する。

- a 自ら所有する住居、又は自らの名義で住居を賃借していること
- b 当該住居に生計を一にする家族と共に住んでいること
- c 当該住居の水道光熱費など費用を自ら負担していること
- d 当該住居に主要な家財道具が存すること

- (イ) 合宿、試合等により当該都道府県外で活動を行う場合、当該都道府県を移動の起点としていること。

#### イ 勤務地

次の要件をいずれも満たすものとする。

- (ア) 平成 26 年 4 月 30 日以前から大会終了時（平成 26 年 10 月 22 日）まで引き続き、雇用主と雇用契約を締結した上で、当該都道府県内に存する雇用主の会社や事業所等に現実に通勤し、勤務していること。

- (イ) 当該都道府県内で、競技普及活動等の事業に参加すること。

### 3 国内移動選手の制限

本特例の対象となる選手の国内移動選手の制限については、国民体育大会開催基準要項細則第 3 項－（１）－１）－③（国内移動選手の制限）の通りとする。

## 別記 5 【東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置】

### 1 特例の対象となる被災地域都道府県

震災による被害状況及び影響等を総合的に勘案し、青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県 の 6 県を本特例の適用対象となる被災地域都道府県（以下「特例対象県」という。）とする。

なお、特例対象県以外の都道府県において対応が必要となった場合は、個別に取り扱うこととする。

### 2 特例の内容

#### (1) 特例対象県を所属都道府県とする場合の要件緩和

- ア 以下の選手及び監督は、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」の各要件を満たしていなくとも、当該特例対象県から参加することができる。

#### 【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県における「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」の各要件を満たすことができなくなった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

- (ア) 平成 23 年 3 月 11 日（震災発生時）時点において、当該特例対象県内に居住又は勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の学校教育法第 1 条に規定する学校に在籍していた者であること。

- (イ) 災害が発生しなかったと仮定した場合、平成 26 年 4 月 30 日以前から各競技会終了時まで継続して当該特例対象県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする要件を満たしていたと合理的に推測される者であること。

#### (2) 避難等による移動先の都道府県を所属都道府県とする場合の要件緩和

- ア 被災地域からの避難等により、当該特例対象県と異なる都道府県に移動した以下の選手及び監督については、移動先の都道府県から参加することができる。

なお、この場合、第 67 回及び第 68 回大会に当該特例対象県から参加していても、国民体育大会開催基準要項細則第 3 項－（１）－１）－③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

#### 【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県から移動せざるを得なかった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

(ア) 平成 23 年 3 月 11 日時点において、当該特例対象県内に居住又は勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第 1 条に規定する学校に在籍していた者であること。

(イ) 移動先の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする要件を満たしていること。

なお、移動が生じた時期が平成 26 年 4 月 30 日以降の場合は、移動先の都道府県の予選会開始までに要件を満たしていることとする。

[注] 「居住地を示す現住所」及び「学校所在地」として参加を希望する者については、当該自治体への住所に関する届出又は学籍に係る要件を満たしていなくとも、それに準ずる公的な証明書類を提出でき、かつ移動先の都道府県に居住あるいは通学している実態を有していると日本体育協会が認めた場合、移動先の都道府県から出場することができる。

イ 本項アを適用して避難等による移動先の都道府県から第 69 回大会に参加した者が、第 70 回大会において、以下のような震災にかかる理由により再度都道府県を移動して参加する場合は、国民体育大会開催基準要項細則第 3 項－(1)－1)－③(国内移動選手の制限)には抵触しないものとする。

<例> ○ 避難先を離れ、当該特例対象県に戻る場合

○ 避難先を離れ、他の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする場合

○ 他の都道府県に避難先を移す場合

(3) 避難等による移動先の属する都道府県において学校を卒業した場合の「ふるさと」選択要件の緩和

避難等による移動先の属する都道府県において中学校または高等学校を卒業した者が、成年種別年齢域に達した際、「国民体育大会ふるさと選手制度」を活用して参加する場合、以下のいずれかを「ふるさと」として登録することができる。

① 卒業中学校または卒業高等学校の所在地

② 災害の発生した時点で在籍していた中学校または高等学校の所在地

なお、本特例を適用して上記②の学校所在地を「ふるさと」登録した場合についても、卒業中学校または卒業高等学校の所在地を「ふるさと」とする場合と同様、一度登録した「ふるさと」は変更できない。

#### 【特例の対象者】

平成 23～25 年度に、避難等による移動先の属する都道府県において中学校または高等学校を卒業した者。

## 6 各正式競技の総合成績決定方法

各正式競技の総合成績決定方法は次のとおりとする。

- (1) 次のア、イの得点を合計したものを男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）とする。

### ア 競技得点

競技得点は、各種別、種目などの第1位から第8位までの都道府県に与え、次のとおりとする。ただし、同順位の場合は、次の順位のものに加え、当該都道府県で等分し、割り切れない場合は、小数第3位以下を切り捨てる。

		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
種別	4人以下	24点	21点	18点	15点	12点	9点	6点	3点
	5人以上7人以下	40点	35点	30点	25点	20点	15点	10点	5点
	8人以上	64点	56点	48点	40点	32点	24点	16点	8点
種目	—	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点

〔注〕「種別」：種別などに与える競技得点 「種目」：種目などに与える競技得点

### イ 参加得点

参加得点は10点とし、大会（ブロック大会を含む。）に参加した都道府県に与える。

ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

- (2) 各競技の総合成績は、当該競技団体が決定する。  
ただし、天候その他の事情により一部競技が中止になった場合は、当該競技団体と大会総務委員会が協議する。
- (3) 参加資格違反等に関わる得点等の取り扱いについては、「国民体育大会における違反に対する処分に関する規程」によるものとする。

## 7 表彰

- (1) 冬季大会及び本大会で実施した全正式競技の男女総合成績第1位の都道府県に天皇杯を、同じく女子総合成績第1位の都道府県に皇后杯をそれぞれ授与する。
- (2) 冬季大会及び本大会で実施した全正式競技の男女総合成績及び女子総合成績の第1位から第8位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。
- (3) 各正式競技の男女総合成績第1位の都道府県に、国民体育大会会長トロフィーを授与する。
- (4) 各正式競技の男女総合成績及び女子総合成績の第1位から第8位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。
- (5) 各競技の各種別及び各種目などの第1位から第8位までに賞状を授与する。団体競技の場合は、その都道府県名とチーム全員（監督を含む。）の氏名を記載したものを都道府県用に1枚、更にその都道府県名と個人名を記載したもの、又は都道府県名とチーム全員（監督を含む。）の氏名を記載したものをチーム全員に授与する。

## 8 参加申込方法

- (1) 都道府県の体育協会会長（代表者）及び各競技団体会長（代表者）は、連署の上、都道府県大会又はブロック大会において選抜された者及び公益財団法人日本高等学校野球連盟が選出したチームを、大会会長宛に申込みものとする。
- (2) 参加申込は、定められた締切日までに国民体育大会参加申込システムにより行う。
- (3) 参加申込締切日

締 切 日	競 技
①平成 26 年 8 月 21 日(木)	水泳、ボート、レスリング、セーリング、自転車、相撲、カヌー、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン
②平成 26 年 9 月 3 日(水)	陸上競技、サッカー、テニス、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、ウエイトリフティング、ハンドボール、ソフトテニス、卓球、軟式野球、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、山岳、アーチェリー、空手道、銃剣道、クレー射撃、なぎなた、高等学校野球

- (4) 参加申込様式は、日本体育協会が実施競技団体と協議の上、作成する。
- (5) 参加申込締切後の選手の交代は、特別な事情がない限り認めない。特別な事情で選手を交代する場合は、次のア～ウ宛に所定の様式にて届け出なければならない。

ア 全国を統轄する各中央競技団体事務局

イ 長崎がんばらんば国体・長崎がんばらんば大会実行委員会事務局

ウ 長崎がんばらんば国体各競技会場地市町実行委員会事務局

なお、日本体育協会に対しては、大会終了後、所定の手続きにより参加申込情報を修正すること。

## 9 棄権手続き

参加申込み締切後から競技初戦までの間において、特別な事情で選手が競技会を棄権する場合には、所定の棄権手続きをとらなければならない。

なお、棄権手続きに係る届出については選手交代届と同じ様式を用いること。

## 10 大会参加負担金

- (1) 本大会に選手団（視察員を除く。）を派遣する都道府県体育協会は、一人当たり次のとおり参加負担金を納入する。

区 分	負 担 金
少年の種別に参加する選手	1,500 円
上記以外の者（本部役員、監督、成年の種別に参加する選手等）	2,000 円

- (2) 大会参加負担金は、各都道府県体育協会でき取りまとめ、次のとおり納入する。

ア 納入期限

平成 26 年 9 月 3 日（水）

イ 納入先

みずほ銀行 渋谷支店 普通預金口座 513729

公益財団法人日本体育協会

## 11 宿泊申込

大会参加者は、長崎がんばらんば国体・長崎がんばらんば大会実行委員会が指定した所定の様式により、定められた締切日までに申込む。

## 12 都道府県選手団本部役員編成及び視察員

- (1) 都道府県選手団本部役員は、次のとおりとする。
  - ア 参加選手 500 名以上の場合は、団長、総監督及び総務ほか、計 20 名以内とする。
  - イ 参加選手 300 名以上 500 名未満の場合は、団長、総監督及び総務ほか、計 15 名以内とする。
  - ウ 参加選手 300 名未満の場合は、団長、総監督及び総務ほか、計 10 名以内とする。
- (2) 上記役員のほか、5 名以内の顧問を設けることができる。
- (3) 上記(1)及び(2)による本部役員総数の範囲内で、スポーツドクターを帯同するものとする。
- (4) 都道府県選手団本部役員の 1 日あたりの編成人数については、上記(1)及び(2)による人数を上限とする。
- (5) 視察員は、1 都道府県 3 名以内とする。ただし、平成 27 年以降の国民体育大会の開催が決定又は内定している県については、和歌山県 100 名以内、岩手県及び愛媛県 60 名以内、福井県及び茨城県 40 名以内とする。
- (6) 都道府県選手団本部役員及び視察員の参加申込は、平成 26 年 9 月 3 日(水)までに国民体育大会参加申込システムにより行う。

## 13 大会参加章、大会参加記念章及び視察員章の交付

大会参加章、大会参加記念章及び視察員章は、次の者に交付する。

- (1) 大会参加章  
都道府県選手団本部役員、監督及び選手並びに大会役員、競技会役員及び競技役員
- (2) 大会参加記念章  
デモンストレーションとしてのスポーツ行事参加者
- (3) 視察員章  
視察員

## 14 参加上の注意

- (1) 大会期間中は、交付された大会参加章、大会参加記念章又は視察員章を携帯しなければならない。
- (2) 各都道府県の代表選手は、競技に際し、所属都道府県を明示したユニフォームを着用しなければならない。
- (3) 各都道府県の代表選手は、大会期間中の競技中を除き、常に「国民体育大会ドーピング検査同意書」を所持しなければならない。

## 15 個人情報及び肖像権に関わる取扱い

日本体育協会、長崎がんばらんば国体・長崎がんばらんば大会実行委員会、第 69 回国民体育大会会場地区市町村実行委員会及び国民体育大会実施競技中央競技団体（以下「国体関係機関・団体」という。）は、参加申込等を通じて取得する個人情報及び肖像権の取扱いに関して以下のとおり対応するものとする。

- (1) 個人情報の取扱い
  - ア 利用目的  
大会参加申込として国民体育大会参加申込システムへ登録された個人情報は、国体関係機関・団体において、参加資格の確認や競技組合せなどをはじめとする大会運営業務のために利用し、目的以外に利用しない。

## イ 公表の範囲と方法

個人情報のうち、所属都道府県、氏名、性別、年齢、学校名、チーム名等、所属と個人を識別するために必要な情報については、以下の方法等により公表することがある。

- (ア) 総合プログラム及び競技別プログラムへの掲載
- (イ) 競技会場内におけるアナウンス等による紹介
- (ウ) 競技会場内外の掲示板等への掲載
- (エ) 大会関連ホームページへの掲載

## ウ 競技結果（記録）等

競技結果（記録）については、上記イで定めた個人情報とともに、以下の方法等により公表することがある。

- (ア) 長崎がんばらんば国体・長崎がんばらんば大会実行委員会が設置する記録本部を通じた公開
- (イ) 国体関係機関・団体及び報道機関等による新聞・雑誌及び関連ホームページ等への掲載
- (ウ) 国体関係機関・団体が作成する大会報告書等への掲載
- (エ) 次回以降の大会プログラムへの掲載【新記録、優勝及び上位入賞結果（記録）等】

## (2) 肖像権に関する取扱い

### ア 写真

国体関係機関・団体又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された写真が、新聞・雑誌・報告書及び関連ホームページ等で公開されることがある。

### イ 写真（写真撮影企業等）

国体関係機関・団体に認められた写真撮影企業等によって撮影された写真等が販売されることがある。なお、各競技・会場における販売の有無等の詳細は、当該中央競技団体を中心に対応する。

### ウ 映像

国体関係機関・団体又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された映像が、中継・録画放映及びインターネットによって配信されることがある。また、DVD等に編集され、販売・配付されることがある。なお、各競技における販売の有無等の詳細は、当該中央競技団体を中心に対応する。

## (3) 対応

### ア 承諾の確認

大会参加申込として国民体育大会参加申込システムへ登録された時点で、上記取扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

なお、各競技会における取扱いに伴い、別途、当該中央競技団体等によって個別に承諾を確認することがある。

### イ 役員等

大会役員、競技役員、運営役員、その他各種委員や補助員、国体関係機関・団体と大会に関する契約をしている者及び大会運営関係者については、上記取扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

## 16 都道府県大会及びブロック大会

正式競技については、本大会の予選として次のとおり都道府県大会（ブロック大会）を開催しなければならない。

- (1) 都道府県の主催団体は、必要に応じて日本体育協会及び中央競技団体等関係団体と協議の上、本要項に基づき実施要項を作成する。

なお、日本体育協会及び中央競技団体は、その内容に不備がある場合、適宜指導を行うものとする。

- (2) 都道府県大会の実施にあたり、当該都道府県主催団体は、適正な手続きに則り決定した代表選手の選抜方法・選考基準について、予め関係者に周知徹底を図るものとする。
- (3) 参加者は、実施要項に基づき当該主催団体に申込み。なお、参加は1人1競技に限る。
- (4) ブロック大会の申込みは、原則として国民体育大会参加申込システムにより行い、様式は日本体育協会及び当該主催団体が協議の上、作成する。

なお、参加申込システムを使用しない場合の様式については、当該主催団体において別途作成する。

- (5) 都道府県大会の参加申込様式は、当該主催団体において作成する。
- (6) 参加料を徴収する場合の金額は、当該主催団体が中央競技団体と協議の上、定める。
- (7) 競技運営に差し支えない限り、長崎県選手は当該競技ブロック大会を経ることなく本大会に参加することができる。

## 17 国民体育大会参加者傷害補償制度

日本体育協会及び都道府県体育協会は、国民体育大会参加者に対する社会的責任体制を整えるとともに、大会参加者の相互扶助の精神に基づいた補償制度として大会参加者による国民体育大会参加者傷害補償制度を運営する。

- (1) 本制度の対象となる参加者は、ブロック大会及び本大会に参加する本制度給付規定に定められた選手、監督、選手団本部役員（顧問を含む）、視察員並びにその他選手団役員とする。
- (2) 大会参加の都道府県体育協会は、国民体育大会参加者傷害補償制度の対象となる参加者数に応じた制度負担金（1人あたり1,000円）を、日本体育協会に納入する。
- (3) 納入締切日及び納入先については別途日本体育協会から都道府県体育協会へ通知する。

## 18 文化プログラム

文化プログラムは、次表のとおりとし、実施については、「文化プログラム実施基準」に基づくものとする。

平成 26 年 2 月 28 日現在

文化プログラム	会場地
スポーツ展覧会（仮称）	長崎市
国立長崎原爆死没者追悼平和記念館の見学・平和学習	
シーボルト記念館常設展示「シーボルトの生涯」	
シーボルト記念館開館 25 周年記念事業（仮称）	
長崎原爆資料館の観覧	
コレクション展	
渡辺千尋の仕事	
須磨コレクション 3	
緑なき島—奈良原一高の軍艦島	
スペイン近現代美術 3	
長崎さるく～スポーツ事始め紹介～	
新収蔵品・端午の節句展	
企画展「長崎と唐様の書」	
伊藤若冲と京の美術～細見美術館の精華～（仮称）	
日本二十六聖人記念館&聖フィリッポ教会	
第 13 回南島原市セミナリヨ現代版画展 巡回展	
長崎ハタ揚げ大会	
第 14 回上野彦馬賞 九州産業大学フォトコンテスト受賞作品展	
片岡鶴太郎展 一長崎椿一	
須磨コレクション 1	
スペイン近現代美術 1	
旧香港上海銀行長崎支店記念館	
2014 長崎帆船まつり	
第 31 回長崎青房会南画展	
遠藤周作文学館 第 8 回企画展「遠藤周作と歴史小説」	
ながさき紫陽花まつり	
特別展「明治日本の産業革命遺産」（仮称）	
タピエスとブロッサ	
第 12 回長崎アートフェスティバル	
第 11 回長崎県ねんりんピック 生きがい作品展	
現代フランスを代表する日本人画家 松井守男展（仮称）	
九州産業大学芸術学部卒業制作展・修了制作展（九芸展）	
所蔵名品展	
戦時中のくらし展	
第 45 回長崎県美術協会展	
企画展「南画の世界と長崎」	
おもしろお手玉企画展（仮称）	

文化プログラム	会場地
江蘇省書画名家展（仮称）	長崎市
長崎の夜・感激の出島	
没後5年 一求道と鎮魂の絵画— 平山郁夫展	
「魔法の美術館 光と影のワンダーランド」	
長崎ペーロン選手権大会	
長崎の風景—旧檜村コレクションの紙作品	
がんばらんば！長崎国体スポーツ切手展	
須磨コレクション2	
スペイン近現代美術2	
くんち資料展	
おもしろけん玉企画展（仮称）	
地域スポーツフォーラム	
長崎奉行所お月見コンサート	
全国スポーツ写真展	
長崎県美術展覧会	
池辺晋一郎トークコンサート	
企画展「坂本龍馬と長崎」	
挿絵画家 椛島勝一	
平成25年度新収蔵品展	
長崎の工芸	
第39回長崎郷土芸能大会	
「長崎のおさかな」PR・おもてなし事業	
世界遺産候補パネル展	
ながさき音楽祭美術館コンサート	
龍馬來崎150周年企画展	
企画展「出島事始め展 ～スポーツ・娯楽編～」（仮称）	
長崎県文化財聖福寺修復チャリティー「キルト展—山口怜子とその仲間たち」	
テオ・ヤンセン展 一砂丘の生命体—（仮称）	
ながさきクリスマス（イルミネーション）	
長崎がんばらんば国体おもてなし推進事業	
交流ひろば（仮称）	
長崎がんばらんば国体・長崎がんばらんば大会記念茶会	
シュガーロードスイーツフェア	
第48回長崎市書作家協会展	
全国の郷土玩具展	
史跡“出島”蔵出しフェスタ ～知と食と物産の宝島～	
第1回出島ことはじめ大会	
二科会長崎支部展（洋画・写真）	
たのシクフェスティバル	
長崎の唄、長崎の音	

文化プログラム	会場地	
マダムバタフライフェスティバル	長崎市	
H26年度 長崎県の文化財公開月間イベント		
第41回日本水彩画会 長崎支部展		
第7回日韓親善交流展第23回長崎県美術協会書部代表作家展		
釜山市立美術館所蔵品展		
日本画の名品		
クラリネットのコンサート		
第63回長崎市民美術展		
詩と版画ーホセ・エルナンデスの「本」		
長崎で聴くイタリアオペラ～名曲ガラ・コンサート2014		
ながさき実り・恵みの感謝祭		
須磨コレクション3		
スペイン近現代美術3		
ガウディ×井上雄彦 ～シンクロする創造の源泉～		
古楽コンサート		
RING ART2013～日中韓葡交流（現代美術）展		
第34回長崎県美術協会洋画部会員展		
日本の医の歩み		
ながさきクリスマス		
孫文と梅屋庄吉友情月間コンサート（仮称）		
グラバー園40周年記念企画展（仮称）		
長崎ゆかりの文学展		
長崎図書館講座		
第10回長崎県高等学校総合文化祭		
第11回長崎県子ども伝統芸能大会		
第9回長崎県中学校総合文化祭		
ふれあい交流講座		
全国鯨フォーラム長崎開催関連事業（仮称）		
山下和仁コンサート		
三川内焼はまぜん祭り		佐世保市
子どもミュージックマラソン～子どもの日SP～		
春のローズフェスティバル		
第47回 佐世保市民展		
ペンギン展		
アメリカンタウンフェスティバル		
両生・爬虫類展		
九十九島水族館「海きらら」夏の特別展		
第3回させぼ文化ウィーク		
食虫植物展示会		
わくわく夜の動植物園		
江迎千灯籠まつり		

文化プログラム	会場地
第 10 回させぼシーサイドフェスティバル	佐世保市
アメリカ・タウンミュージアム展開事業	
アルカスファミリーコンサート in 宇久	
長崎がんばらんば国体佐世保市大会直前イベント	
第 10 回産業展（仮称）	
第 28 回ながさき“若い芽”のコンサート	
佐世保 J A Z Z	
秋のローズフェスティバル	
第 36 回佐世保市民芸術祭	
第 17 回 YOSAKOI ささせぼ祭り	
しかまち文化祭	
音楽祭・文化祭	
野生のネコ展	
障がい者啓発事業 ゆう&あい with 長崎がんばらんば大会（仮称）	
第 19 回きらきらフェスティバル	
小佐々地区町民文化祭	
干支の動物展	
第 15 回長崎県障害者芸術祭	
雲仙普賢岳噴火災害の伝承と島原半島世界ジオパーク	
さかさばら郷土資料館	
「がんばらんば体操教室」	
島原城薪能	
しまばら温泉不知火まつり	
「島原藩の弓術－大和流弓術の世界」展（仮称）	諫早市
深溝本光寺宝物展（仮称）	
諫早つつじまつり	
諫早がんばらんば音楽会（仮称）	
諫早万灯川まつり	
とどろき名水まつり	
アエル中央商店街夏祭り	
長崎国体写真展（仮称）	
八坂町共栄会ぎおん祭り	
永昌東町夏まつり	
のんのこ諫早まつり	
天満町商工振興会夏まつり「天満祭り」	
諫早の美術・歴史展（仮称）	
自然干陸地 1 0 0 万本のコスモスまつり	
秋の街なみ美術展	
いさはや灯りファンタジア	
いさはや名物うなぎまつり	
旧楠本正隆屋敷 大村のひなまつり	大村市

文化プログラム	会場地
松原宿ひなまつり	大村市
裏見の滝自然花苑しゃくなげ祭り	
おおむら桜まつり	
第 28 回のだけ新茶まつり	
郡(こおり)んかっぱ共和国 郡んかっぱまつり	
OMURA 室内合奏団 第 18 回定期演奏会	
わんぱく相撲 大村場所	
旧楠本正隆屋敷 初夏の催し	
市民いけばな展	
おおむら花菖蒲まつり	
市民茶会	
竹松ゆかたまつり	
平成 26 年度大村市立史料館夏の企画展	
おおむら夏越花火大会	
おおむら夏越まつり	
世界遺産ミュージカル大村公演	
シーハット・ミュージック・フェスタ 2014「OMURA・ミュージック・キャンプ」	
城下町大村秋の音楽祭 2014	
第 35 回コミセンまつり	
平成 26 年度大村市立史料館特別展	
大村城下町灯籠まつり～秋の夜長の武家屋敷～	
秋季謡曲大会	
みうら勤作まつり	
鈴田ふれあい祭り	
牧場まつり	
松原おくんち	
大村市文芸大会	
黒丸踊法養祭	
舞台芸術祭	
第 18 回大村寄席	
第 7 回郡地区コミセンまつり	
第 14 回おおむら秋まつり	
OMURA 室内合奏団 第 19 回定期演奏会	
大村市美術展	
一人一花運動推進事業	
さくらまつり	平戸市
つつじまつり	
たびら春まつり	
木ヶ津千灯籠春まつり	
平戸海道渡海人祭	
いきつき春まつり	

文化プログラム	会場地
按針忌	平戸市
千光寺献茶式	
津吉茶市	
鄭成功まつり	
館浦競漕船大会	
コックスフェスタ・王国祭	
平戸のジャンガラ	
獅子の須古踊り	
館浦須古踊行事	
度島の盆ごうれい	
世界遺産登録推進コンサート	
ながさき音楽祭「ひらんの風」コンサート 平戸小学校開校 140 周年記念コンサート	
平戸新あご祭り	
ながさき音楽祭「ひらんの風」コンサート 大島村神浦地区コンサート	
世界のカブト・クワガタ展	
企画展「平戸のキリシタンと松浦氏」	
大相撲化粧まわし展	
相撲の歴史・文化展	
荻田浮立奉納	
平戸オランダ商館	
松浦史料博物館	
平戸くんち城下秋まつり	
平戸民俗芸能祭	
平戸神楽（大々神楽）	
ながさき音楽祭「ひらんの風」コンサート お月見コンサート	
平戸市美術展覧会	
平戸市文化まつり	
ながさき音楽祭「ひらんの風」コンサート 寺院コンサート	
大島村ふるさとまつり	
平戸鍋ざんまい喰らい MAX	
まちかど美術展	
第 69 回国民体育大会なぎなた競技会 オープニングセレモニー「まつうら文化の陣」	松浦市
国体おもてなし茶会 ～一期一会～	
対馬歴史民俗資料館	対馬市
ヤクマ祭り	
地藏盆	
和多都美神社古式大祭	
木坂海神神社大祭	
八幡宮神社大祭	
しまの夢飛行コンサート	
万松院まつり	

文化プログラム	会場地
対馬島郷土芸能発表大会	対馬市
オヒデリ様（本山送り）	
一支国博物館 第19回特別企画展 壱岐島発掘速報展	壱岐市
一支国博物館 第20回特別企画展 陸の要衝 但馬地方の歴史	
八日市	
壱岐サイクルフェスティバル 2014	
一支国博物館 第21回特別企画展 むかしのくらしと道具展（仮称）	
郷ノ浦祇園山笠	
壱岐大大神楽公演	
辰の島フェスティバル	
壱岐の島夜空の祭典	
一支国博物館 第22回特別企画展 しまごと芸術祭	
勝本港港まつり	
一支国浪漫コンサート	
湯本温泉祭	
東アジア国際ミニシンポジウム	
一支国博物館 第23回特別企画展 山下清が描く「東海道五十三次」心の風景 山下清展	
住吉神社奉賛神事 大大神楽	
カヌー体験事業	
白良ヶ浜海岸クリーンアップ作戦	
魚津ヶ崎 第6回菜の花まつり	
第23回富江半島ブルーライン健康ウォーク大会	
嵯峨島体験ウォーク	
魚津ヶ崎 第3回 あじさいまつり	
「お化け・妖怪大集合！～資料館のお化け屋敷～」（仮称）	
万葉の里ペーロン競漕大会	
第25回ぎょうが崎漁火祭	
TOKYO スーパーイリュージョン	
福江中心商店街 夜市	
富江まつり	
平成26年度玉之浦港まつり	
平成26年度三井楽夏まつり	
奈留夏まつり	
平成26年度夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会	
福江少年少女合唱団	
第38回定期演奏会	
カヌーツーリング（シーカヤックによるカヌー体験）	
「恐竜 in ごとう 2014」（仮称）	
平成26年度福江みなとまつり	
魚津ヶ崎 第3回 コスモスまつり	

文化プログラム	会場地
第30回長崎五島ツーデーマーチ	五島市
三井楽万葉まつり	
三井楽物産まつり	
第13回とみえ産業市	
最後の夕陽鑑賞会	
五島市玉之浦町産業まつり	
第28回岐宿町産業祭	
雪浦ウィーク	西海市
第4回西海市文化祭	
第51回大瀬戸ペーロン大会	
さきと納涼花火大会	
おおせと夏まつり	
川内いきいき夏祭り	
七釜盆踊り大会	
横瀬浦あっぱよし夏祭り	
面高夏祭り	
西彼町夏まつり	
丹納地区納涼夏祭り	
大島ふれあいフェスティバル	
第16弾さいかい井フェア	
西海市フローア芸術祭	
第3回西海市文化展	
第5回西海大鍋まつり	
山本美術館「2014 特別企画展」	
雲仙モーモーフェスティバル イン みずほ	
雲仙市瑞穂特産品まつり	
内藤大助トークショー	
鳥羽一郎・水前寺清子コンサート	
雲仙音楽祭（雲仙マーチングまちなかコンサート（仮称））	
プロサッカー選手トークショー	
雲仙音楽祭（雲仙マーチングクリニック）	
三遊亭歌之助 独演会	
雲仙市産業まつり～特産まんぞく市～	
移動美術館 art moving	
自然と遊ぼう2014	南島原市
第23回原城一揆まつり	
マリンフェスタ in くちのつ 2014	
2014 生き生きサマーフェスタ in ふつ	
第14回ありえ浜んこら祭	
ありえ蔵めぐり音楽祭	
おはなしカーニバル in 南島原	

文化プログラム	会場地
南島原市 Food Expo2014	南島原市
ファミリンピック	
第 37 回長与町文化協会発表大会	長与町
平和コンサート in ながよ (vol. 15)	
長与川まつり	
スポーツ・文化写真展	
第 69 回国民体育大会ソフトボール競技会少年女子 オープニングセレモニー	
第 14 回全国障害者スポーツ大会フットベースボール競技会 オープニングセレモニー	
第 51 回長与町民文化祭	
ふるさと散歩 とぎつ	
春まつり・さつき展	
アリス＝紗良・オット ピアノリサイタル	
音楽見本市&かなりー音の博物館 2014	
とぎつ夏まつり	
とぎつ寄席 桂歌丸・柳亭市馬 二人会	
鑑賞事業	
ジュニアオーケストラ演奏会	
時津町文化祭	
図書館祭り	
ゲーテ弦楽器四重奏団コンサート	
とぎつふれあい産業まつり	
とぎつ生涯学習を考えるつどい・少年の主張大会	
「歴史散歩」	
ひがしそのぎじげもんライブ 2014	東彼杵町
東彼杵町ふるさと芸能大会	
長崎街道ウォーク	
大崎くじゃく園開園 50 周年記念イベント	川棚町
図書室まつり	
長崎がんばらんば国体川棚町総決起大会	
かわたな夏まつり	
川棚町総合文化祭	波佐見町
皿山人形浄瑠璃公演	
波佐見町民文化祭	小値賀町
デモスポ競技「歴史探訪ウォーキング」オープニングセレモニー	
小値賀町歴史民俗資料館特別企画展「浮かび上がる新たな歴史」	
おぢか町民文化祭	佐々町
長崎県一のしだれ桜群 (真竹谷広場)	
県北一の菖蒲園 (佐々町三大花まつり)	
七夕まつり	
夏まつり	

文化プログラム	会場地
佐々町栄町通り大綱引き大会	佐々町
佐々町皿山登り窯「窯焚き体験」	
第14回上五島神楽大祭	新上五島町
にっぽん丸寄港	
ほたるのふるさと相河川祭り	
第27回蛤浜で遊ぼデー&白砂の芸術祭	
新上五島町の歴史と文化及び景勝地ツアー	
第9回 上五島教会めぐりウォーク&クルーズ	
新上五島町文化祭 ステージ発表	
新上五島町文化祭 美術展	
チャーチウィーク in 上五島教会コンサート	

※会場地数は、13市8町

## 19 デモンストレーションとしてのスポーツ行事

デモンストレーションとしてのスポーツ行事は、次表のとおりとし、実施については、「デモンストレーションとしてのスポーツ行事実施基準」に基づく実施要項による。

デモンストレーションとしてのスポーツ行事	会 場 地
けん玉	長崎市
ビリヤード	長崎市
お手玉	長崎市
3 B 体操	佐世保市・西海市
スポーツチャンバラ	佐世保市
グラウンド・ゴルフ	大村市・五島市 波佐見町・新上五島町
パラグライディング	大村市
ソフトバレーボール	松浦市
パワーリフティング	対馬市
ペタンク	五島市
綱引	五島市
雲仙アヅマクロス	雲仙市
アクアスロン	南島原市
マリンスポーツ	南島原市
ターゲット・バードゴルフ	長与町
ゲートボール	東彼杵町
ドッジボール	東彼杵町
歴史探訪ウォーキング	小値賀町
ジュニアソフトテニス	佐々町

※会場地数は、9市6町

## 20 その他

- (1) 参加申込及び宿泊申込が、定められた締切日までに行われない場合、又は、参加負担金が定められた納入期限までに納入されない場合は、本大会への参加を認めない。
- (2) その他の事項については、国民体育大会開催基準要項及び同細則による。

**第 69 回国民体育大会における監督への  
公認スポーツ指導者資格義務付けに係る取り扱いについて**

監督については日本体育協会公認スポーツ指導者制度に基づく競技別指導者資格を有する者とし、各競技における対象資格については当該競技実施要項によるものとする。

なお、第 69 回大会における特例として、以下の者の取り扱いについて、各競技において下表のとおり定める。

- ・平成 26 年 10 月 1 日付の登録手続きを行う者（平成 26 年 10 月 1 日付認定予定者）

（平成 26 年 3 月 13 日現在）

競 技	取り扱い	競 技	取り扱い
陸上競技	○	馬術	○
水泳	×	フェンシング	○
サッカー	×	柔道	○
テニス	○	ソフトボール	×
ボート	○	バドミントン	×
ホッケー	○	弓道	×
ボクシング	○	ライフル射撃	×
バレーボール	○	剣道	○
体操	○	ラグビーフットボール	○
バスケットボール	○	山岳	○
レスリング	○	カヌー	○
セーリング	○	アーチェリー	○
ウェイトリフティング	○	空手道	○
ハンドボール	○	銃剣道	○
自転車	○	クレール射撃	○
ソフトテニス	○	なぎなた	×
卓球	○	ボウリング	○
軟式野球	○	ゴルフ	○
相撲	○		

○・・・公認スポーツ指導者資格を有する者と同等の者として扱う。